

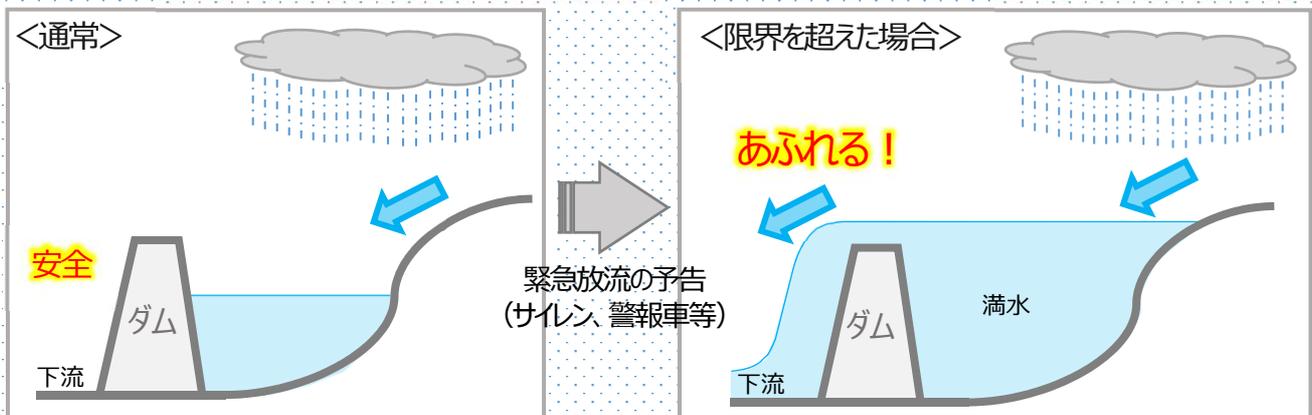
平成30年7月豪雨では、中四国地方を中心に、いくつかのダム下流において大規模な洪水被害が発生しました。これは、ダムが満水となり、上流から流れてくる雨水を貯めることができなくなった結果、ダムの下流で甚大な氾濫被害が生じたものです。

気候変動により想定外の洪水リスクは高まっています。鳥取県内でも同様の被害が発生する可能性があります。ダムの限界を知り、身を守るための避難行動が必要です。

## ダムの限界

ダムの能力の範囲内の雨であれば、上流から流れてくる雨水をダムに貯め込むため、下流は安全です。

異常な豪雨により、ダムの能力の限界を超えると、ダムに流れてきた雨水がそのまま下流へ流れていき、下流では氾濫被害が発生する可能性があります。



## ダム放流への備え

サイレンや警報車でダム放流の予告があった場合は、地域で助け合って速やかに避難をしてください。



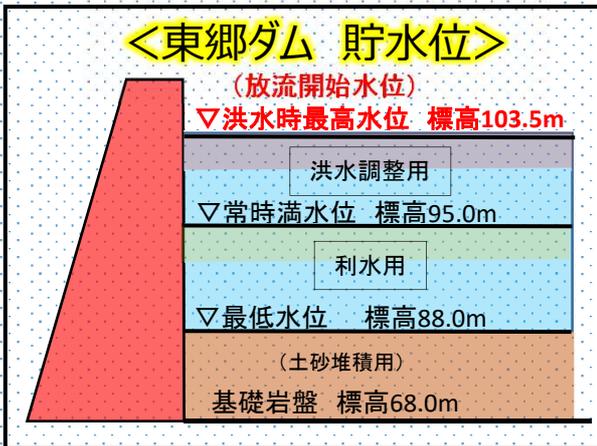
鳥取県では、ダム放流での被害者ゼロを目指して実効性のある避難対策等を確立したいと考えています。

湯梨浜町内の東郷ダムにおいても、まずは、ダムの下流にお住まいの皆様に対して、ダムの機能や放流情報の伝達方法等をご承知いただきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

# ダム放流の予告

異常な豪雨により、ダムへの流入量が多くなり、貯水位が「洪水時最高水位」を超える恐れがある場合、避難に要する時間も考慮した上で、事前にサイレン吹鳴、パトロールカーによる通報を行います。

## <放流情報の伝達方法(試行)>



※東郷ダムは人為的操作のない自然越流型ダムです。

①常時満水位(水位95m)

②洪水時最高水位に達する3時間程度前(県→町)

・流入量が $9\text{m}^3/\text{秒}$ 以上 かつ 水位96mを超過

(県から住民への伝達方法)

**サイレン吹鳴、パトロールカー通報**

(町から住民への伝達方法)

**防災行政無線**

③洪水時最高水位に達する1時間程度前(県→町)

・放流量が $9\text{m}^3/\text{秒}$ 以上 かつ 水位99mを超過

(町から住民への伝達方法)

**防災行政無線**

## <パトロールカーによる通報例>

～こちらは、鳥取県東郷ダム管理事務所です。ただ今、ダムの水位が上昇しております。川の水が増えて危ないので、川から離れて避難行動をとってください。

## <警報局の位置、パトロールカー経路>



東郷ダムの水位、貯水量に関する情報はこちら  
 【鳥取県ダム情報提供システム】  
<http://www7.apionet.or.jp/dam/index.php>

携帯サイトはこちら  
<http://www7.apionet.or.jp/dam/m/>

